

# 2.2 節末問題 2.2 の解答



#### 問題 2.2.1

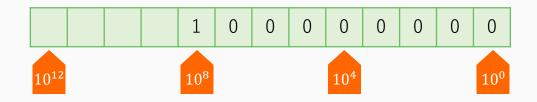
この問題は、累乗(→**2.2.3項**)を理解しているかどうかを問う問題です。早速ですが、答えは以下の通りです。

- 1万は10の4乗(10<sup>4</sup>)
- 1億は10の8乗(10<sup>8</sup>)
- 1 兆は 10 の 12 乗( $10^{12}$ )

これは、以下のように「10 の n 乗を計算するとき、n が 1 増えるとゼロの数が 1 増える」と考えると、簡単に答えが分かります。

- $10^1 = 10$  (ゼロが 1 個)
- $10^2 = 10 \times 10 = 100$  (ゼロが 2 個)
- $10^3 = 10 \times 10 \times 10 = 1000$  (ゼロが 3 個)
- $10^4 = 10 \times 10 \times 10 \times 10 = 10000$  (ゼロが 4 個)

1万は 10000(ゼロが 4 個)、1 億は 100000000(ゼロが 8 個)、1 兆は 100000000000(ゼロが 12 個)なので、それぞれ  $10^4$ ,  $10^8$ ,  $10^{12}$  です。



## 問題 2.2.2

この問題は、累乗( $\rightarrow$ **2.2.3項**)、ルート( $\rightarrow$ **2.2.4項**)を理解しているかどうかを問う問題です。答えは以下のようになります。

- $29^2 = 841$  であり、 $\sqrt{841} = 29$
- $4^5 = 1024$  であり、 $\sqrt[5]{1024} = 4$

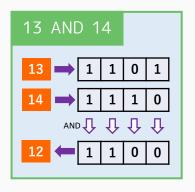
なお、 $a^b = x$  のとき  $\sqrt[6]{x} = a$  となるという重要な性質が成り立ちます。

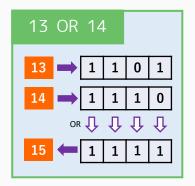
## 問題 2.2.3 (1)

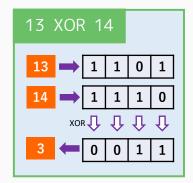
この問題は、2 つの数のビット演算 (→**2.2.7項~2.2.9項**) を理解しているかどうか を問う問題です。以下のような計算により、

- 13 AND 14 = 12
- 13 OR 14 = 15
- 13 XOR 14 = 3

となります。分からない人は、論理演算の AND は「両方 1 ならば 1」、OR は「片方でも 1 ならば 1」、XOR は「片方だけ 1 ならば 1」であったことを思い出しましょう。ビット演算は、それぞれの数を 2 進法に変換し、それぞれの桁に対して論理演算を行うものです。







## 問題 2.2.3 (2)

この問題は、3 つ以上の数のビット演算( $\rightarrow$ **2.2.11項**)を理解しているかどうかを問う問題です。以下のような計算により、答えが 15 であることが分かります。

((8 OR 4) OR 2) OR 1

- = (12 OR 2) OR 1
- = 14 OR 1
- = 15

なお、8、4、2、1 を 2 進法に変換すると 1000、0100、0010、0001 となり、4 つすべての桁について「1」が 1 個以上存在するため、答えは 2 進法で 1111(10 進法で 15)だと計算することも可能です。

#### 問題 2.2.4

この問題は、剰余(mod)の実装方法( $\rightarrow$ **2.2.1項**)を理解しているかどうかを問う問題です。C++ の場合、以下のようなプログラムを書くと正解が得られます。なお、C++ や Python などのプログラミング言語では、変数 a を b で割った余りは a % b で計算できます。

```
#include <iostream>
using namespace std;
int N, A[109];
int Answer = 0;
int main() {
    // 入力
   cin >> N;
   for (int i = 1; i <= N; i++) {</pre>
        cin >> A[i];
    }
    // 答えの計算
   for (int i = 1; i <= N; i++) {
        Answer += A[i];
    }
    // 出力
    cout << Answer % 100 << endl;</pre>
    return 0;
}
```

※ Python などのソースコードは GitHub の codes フォルダをご覧ください。